

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
情報 I	1	2	数研出版 高等学校 情報 I	数研出版 高等学校 情報 I サポートノート 東京書籍 Python 入門 プログラミングの基礎から応用まで

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
b 思考・判断・表現	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
c 主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

評価の方法

各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。

年間指導計画

前期					後期							
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c				a	b	c	
4	1	オリエンテーション				10		第 4 編 情報通信ネットワークとデータの活用				
		第 1 編 情報社会の問題解決						8	・第 1 章 ネットワークのしくみ	○		
	4	・第 1 章 情報とメディア	○	○			2	・第 2 章 データベース	○			
5	6	・第 2 章 情報社会における法とセキュリティ	○	○		11	6	・第 3 章 データの分析		○	○	
	3	・第 3 章 情報技術が社会に及ぼす影響		○	○		1	後期中間考査				
6	1	前期中間考査						第 3 章 コンピュータとプログラミング				
		第 2 編 コミュニケーションと情報デザイン				12	3	・第 1 章 コンピュータのしくみ	○			
	7	・第 1 章 情報のデジタル表現	○			1	7	・第 2 章 プログラミング	○	○		
7	3	・第 2 章 コミュニケーション手段の発展と特徴	○			2	3	・第 3 章 モデル化とシミュレーション		○	○	
	8	・第 3 章 情報デザイン		○			1	後期期末考査				
8	7	・第 4 章 プレゼンテーション		○	○	3	4	巻末実習		○	○	
9	1	前期期末考査										

計 70

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・持参してもらったタブレットを使用する場合もある。その際、学校で定めたルール、その他マナーやモラルに基づいて使用すること。
- ・予習は必要としないが、復習は家庭学習などで行うこと。
- ・場合によっては、学校のパソコンを使用する場合がある。丁寧に扱うこと。
- ・分からない所や気になる所などがある場合は、遠慮なく質問すること。
- ・高校は学ぶ所であり、その前提で授業が進む。クラスメイトの学習を著しく妨げる行為を禁ずる。
- ・自身の個人情報責任を持って扱うこと。
- ・考査ごとにサポートノートを回収し、評価に加味する。